



横浜こどもスポーツ基金 令和3年度 ドリームアスリート指定選手決定！

ドリームアスリート

全日本選手権等の出場実績がある横浜ゆかりの選手に対し、競技に係る費用などの支援や、医科学的なトレーニングサポートの支援等を行い、横浜からパラリンピックやデフリンピック等の国際大会に出場できる選手の輩出を目指すプロジェクトです。横浜こどもスポーツ基金の取り組みの一環で令和3年度より開始します。公募・審査により、今年度は2名の選手をドリームアスリートとして指定しました。

指定選手



さいとう げんき
齊藤 元希
卓球(車いす)
■在籍校
東京国際大学
■所属
静岡県身体障害者卓球協会
■主な練習場所
横浜ラポール
■主な成績(2019年度)
ジャパンオープン
個人戦3位/団体戦2位



ひなた かえで
日向 楓
競泳(両上肢欠損)
■在籍校
神奈川県立旭高等学校
■所属
宮前ドルフィン
■主な練習場所
横浜国際プール、横浜ラポール
■主な成績(2019年度)
IDM Berlin 2019WPSワールドシリーズ
50mバタフライ 41秒66(日本新・1-25位)

ドリームアスリート認定式

指定選手の認定式を行います

【日時】令和3年4月30日(金) 18:30~19:00

【会場】障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

※取材をご希望される方は、事前に下記までご連絡をお願いいたします。



横浜こどもスポーツ基金

障害の有無にかかわらず、誰もがいつでもスポーツ活動に取り組める環境があれば、いきいきとした活力のある「希望」をもった生活につながります。また、身近なところからトップアスリートを目指す障害のある子ども達が現われ、全国大会や国際大会で活躍できれば、「夢」をより身近なものに感じることができます。

横浜こどもスポーツ基金は、障害のある子どもたち等が、スポーツを通じて夢と希望を持って育ち、横浜の身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを目的に、平成25年6月に創設されました。

当基金では「誰もがスポーツを継続的にできる環境づくり」「障害者アスリート発掘と育成」をビジョンに掲げ3つの活動ステージに区分し、障害のある子ども達が身近な場所でスポーツに親しむ段階「Enjoy Stage」、競技としてスポーツに取り組む段階「Challenge Stage」、さらにトップスポーツで活躍する段階「Dream Stage」へと段階的なステージを設定し活動しています。

お問合せ先

(公財)横浜市スポーツ協会 スポーツ事業部長 早川 信悟 Tel 045-640-0049